



## 希望の年

小野町議会議長 村上 昭正

新年明けましておめでとうござい  
ます。

町民の皆さまには輝かしい新年を  
お迎えのことと心からお喜び申し上  
げます。

また常日頃から議会活動および議  
会運営に対し、温かいご支援とご協  
力ご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成23年の3月に発生した  
東北地方太平洋沖地震と津波、さら  
には福島第一原子力発電所事故など  
による未曾有の災害からもうすぐ2  
年になるわけですが、まだま  
だ復旧復興に至っていない現状であ  
ります。

昨年は復興元年という意味合いの  
下、原発関連施設や原発事故により  
いまだ避難を余儀なくされている双  
葉地方の自治体の視察などさまざま  
な議会活動をしてまいりましたが、  
災害の恐ろしさを痛感するととも

に、日頃の防災に関する意識や訓練  
の大切さを強く感じさせられたとこ  
ろであります。

このような中、私たち議会議員は  
議員定数を12人に削減し、昨年の改  
選で信託を受け、町政発展のため鋭  
意努力をさせていただいているとこ  
ろであります。まずは議会改革を進  
めていかなければということ、通  
年議会の実施、議会基本条例の制定、  
議決権の拡大、議会説明会など、今  
議論を進めているところです。それ  
と同時に、議員一人一人の意識改革  
も重要ではないかと思ひ、さまざま  
な町の行事などへも全員で積極的に  
参加し、問題を共有しているところ  
であります。

昨年を振り返りますと、日中関係  
の悪化・原油価格の高騰、年金不安  
や少子高齢化がもたらす諸問題、地  
球環境問題や地域間紛争、さらには  
混迷する時代を反映するかのごと

く、凶悪犯罪や心痛な事件が数多く  
起こった1年でありました。また経  
済面を見ますと、欧州債務危機や新  
興都市の低迷、また近隣国との領土  
問題による日本製品の販売不振など  
により、株安や円高による景気の減  
退など、一段と厳しい一年でありま  
したが、今年こそ明るい希望が持て  
る年になることを願ってやみませ  
ん。

一方、地方分権改革は本格的な実  
行の段階に入り、各自自治体はそれぞ  
れの権限に応じた自己責任が求めら  
れており、住民の参画の下、自らの  
判断と責任において多様な施策を展  
開していくことが必要とされます。

このように、わが町を取り巻く社  
会経済環境は厳しさを増しております。  
これから分権社会においての地  
方議会の責任と役割は、旧来では考  
えられないほど重くなっております。  
私たち議員一同は、こういった  
責務の重大さを再認識し全うする所  
存でありますので、なお一層のご支  
援ご協力をお願い申し上げます。

どうか町民の皆さまにおかれまし  
ては、健康にも十分に留意されまし  
て、最良の年でありますよう心から  
ご祈念申し上げ、議員を代表して新  
年のあいさつといたします。

## 謹賀新年

議長 村上 昭正  
副議長 久野 峻  
議員 佐藤 登  
遠藤 英信  
水野 正廣  
宇佐見留男  
籠田 良作  
田村 弘文  
宗像 芳男  
竹川 里志  
吉田 康市  
会田 明生